

# 館だよ



2023年 4月28日発行

秋草学園高等学校 図書館

4月も残りあとわずか。1年生のみなさん、高校生活には慣れてきましたか。体験期間が終わり、勉強だけでなく、 部活動も本格的にスタートしましたので、忙しく毎日を過ごしているのではないでしょうか。充実した毎日を楽しみ つつ、体を労わることも忘れないようにしてください。さて、明日からはゴールデンウィークが始まります。間に 2 日間平日を挟みますが、連休が続きます。外出の計画を立てている人、家でのんびり過ごす人、部活動に励む人など、 色々な過ごし方があると思いますが、ゆっくり読書を楽しむのもおすすめです。

# 2023 年本屋大賞は『汝、星のごとく』 1

2023 年本屋大賞で大賞に輝いた『汝、星のごとく』 は著者 凪良ゆうさんが初めて男女の恋愛を描いた作品。 本の帯には「その愛は、あまりにも切ない。」という文字 が。その愛を読み、みなさんはどう感じるでしょう。

#### 913.6-ナ 『汝、星のごとく』 凪良 ゆう | 著 講談社

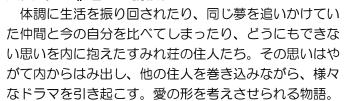


瀬戸内の島で暮らす暁海は、親に振り回され、島人か ら好奇の目で見られ、不安や孤独を心に積もらせてい た。島へ転校してきた櫂もまた自分勝手な母親のもとで 暁海と似た思いを背負っていた。

そんなふたりの17歳が出会い、惹かれ合い、共に時 間を過ごし始める。しかし、それぞれの人生を歩む中で 思いはすれ違い、別れがやってくる。それでも相手の存 在が心から消えてくれることはない。月日は流れ、私た ちが本を閉じる頃には彼らはもう32歳。散々失敗を し、遠回りをして、暁海と櫂が選んだものとは。

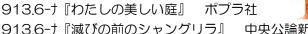
## ●愛は毒か、それとも救いか

### 913.6-ナ 『すみれ荘ファミリア』 凪良 ゆう || 著 講談社



その他、図書館で所蔵する凪良ゆうさんの作品は以下のとおり 913.6-ナ『流浪の月』 東京創元社

B913.6-ナ 『神さまのビオトープ』 講談社



913.6-ナ『滅びの前のシャングリラ』 中央公論新社 B913.6-」 『非日常の謎』 講談社 に収録 『表面張力』

# ゴールデンウィークは謎解きに挑戦!

# 913.6-] 『名探偵のままでいて』 小西 マサテル ∥ 著

認知症を患い、幻視などの症状を抱える祖父。その祖父 が聡明だった頃に戻る瞬間に孫の楓は気づく。それは謎と 出会う瞬間。楓が身近で起こった事件の話をすると祖父の 日に輝きが戻り、鋭い推理で真実を導いたのだ!祖父と楓 のやりとりに温かみを感じながら謎解きを楽しめる1冊。

#### 913.6-\ [N] 道尾 秀介 || 著 集英社

全6章から成るこの物語はどの章からどんな順番で読ん でいくかが読者に委ねられています。どこから読み始めて も物語が繋がっていくおもしろさと、別の順番で読んだら どうなるのだろうというワクワクを感じられます。720 通りある中でみなさんが選ぶのはどんな物語でしょうか。

## 新着コーナーの気になる本

#### 『地球の歩き方 aruco 東京パワースポット 291<del>-</del>*f* さんぽ』 地球の歩き方編集室 ||編著 Gakken

東京の知られざるパワースポットの情報がつまった1 冊。運気の上がる場所の他、お寺の境内や大聖堂近くの カフェなどパワーグルメや開運アドバイスなども載って います。ページのデザインもおしゃれで読むだけでパワ ーをもらえます。GW に早速出かけてみてはいかが?

#### 914.6-7 『あなたはここにいなくとも』 町田 そのこ | 著 新潮社

誰かの心に種を撒く『粋』なひとになりたい、と語る 町田そのこさん。その思いを元に書かれたこの短編集に は、粋なおばあさんたちが登場します。人生には苦しい ことも辛いこともある。そんな時、経験豊かなおばあさ んたちの言葉や行動が大事なことに気づかせてくれる。

# □ 司書の今月はこの本読みました

2021 年本屋大賞 第2位『お探し物は図書室まで』、2022 年本屋大賞 第2位『赤と青とエスキース』、そ して 2023 年本屋大賞で『月の立つ林で』が第5位に選ばれ、今後の活躍に期待が高まる青山美智子さん。『月の 立つ林で』は、頑張っているのに思いが空回って身近な相手とすれ違ってしまう5人の主人公の連作短編集。別々の 人生を歩む彼らを結ぶのはタケトリ・オキナの「ツキない話」という配信。月に関するあれこれを静かに優しく語る 声が大切な相手との間に感じた溝を埋めるきっかけをもたらしてくれるのでした。その正体もお楽しみに。**【今井】**